

地下鉄7号線
が通るまち

地下鉄7号線 延伸実現に向けて

平成30年2月速報

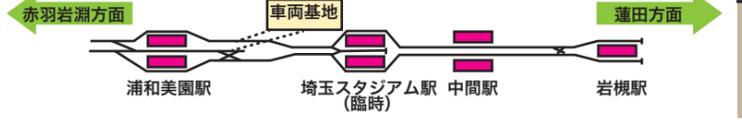
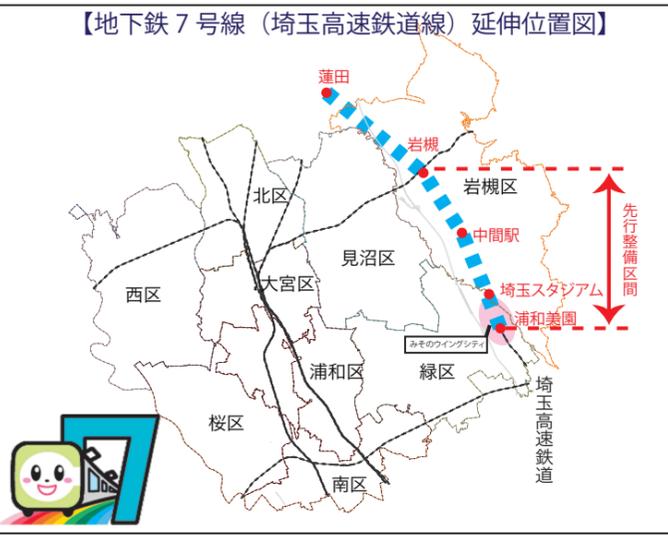
地下鉄7号線 岩槻延伸へ大きな一歩！

大きな壁であった「採算性」乗り越え、目安値に到達

平成30年2月21日に行われた第3回地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）延伸協議会鉄道分科会において、全ケースの需要予測と評価について協議し、沿線開発や、快速運転を行うケースを組み合わせ、国の補助を受ける目安をクリアし、この大きな「壁」を乗り越える見通しとなりました。

実現のための課題はたくさんありますが、国の都市鉄道等利便増進法による建設費の3分の1を国が補助する制度の活用が可能になることにより、実現のための一歩を大きく踏み出すことになりました。

私も市議会における「広域的交通ネットワーク特別委員会」の一員として、確実に岩槻の活性化につながるこの事業を推進し、早期実現できるよう全力を尽くして参ります。



浦和美園～岩槻地域成長・発展プランについて

- Q. 中間駅周辺地区・その他東部地域において、基本計画・行動計画を進めていくに当たって、どのように考えているか。
- A. 地下鉄7号線延伸協議会において策定したもので、成長・発展プランは、基本計画で東部地域全体の理念、目標、方針を定めるとともに、行動計画では浦和美園周辺地区、岩槻周辺地区および中間駅周辺・その他東部地域の3地区について、それぞれの具体的な事業を定めて実施して行く。

平成30年6月定例会一般質問より

- Q. 7年かかって継続中ということは、それなりの時間がかかる。今後のスケジュールをどう考えているのか。
- A. 浦和美園駅周辺地区と岩槻周辺地区の両副都心をまず、まちづくりを整備し、鉄道建設に合わせて中間駅周辺地区のまちづくりを進め、鉄道開業時には駅前広場や主要道路を先行整備し、まち開きと同時に一定の定住、交流人口もあることを目指していきたい。

スマホやテレビ・ラジオでも市の情報をチェックできます

<p>Twitter</p> <p>@SaitamaCityPR</p>	<p>YouTube</p> <p>Saitama citypr</p>	<p>ラジオ</p> <p>FM NACK5 (79.5MHz) 放送日時：毎週月～金曜日 7時59分頃</p> <p>CityFM さいたま (87.3MHz) 放送日時：毎週金曜日 17時45分前後</p>
<p>Facebook</p> <p>さいたま市 Facebook ページ</p>	<p>ブログ</p> <p>のびのびシティ通信 市内のイベントや出来事などを職員が親しみやすい語り口で紹介するブログ</p>	<p>テレビ (テレビ埼玉)</p> <p>テレビ広報番組</p> <p>のびのびシティ さいたま市 放送日時：毎週日曜日 (第5週を除く) 10時45分～</p> <p>さいたま市インフォメーション 放送日時：毎週木曜日 (第5週を除く) 17時15分前後</p>
<p>LINE@</p> <p>@saitamacity</p>	<p>マチイロ</p> <p>市報の電子版などを見ることができスマートフォン向けアプリ</p>	
<p>Instaglam</p> <p>#さいたま日和 saitamacity_official</p>	<p>マイ広報誌</p> <p>市報の記事ごとにデータ化してインターネットで配信するサービス</p>	

さいたま市議会議員

ダイジェスト

平成31年 第8号



新井もりお 市政報告



日頃より新井もりおの活動にご支援、ご協力いただきまして大変ありがとうございます。さいたま市は人口130万人を越え、岩槻区も112,125名と10万を越える大きなまちへと成長しております。さいたま市10区の中で最も面積の広い岩槻区は副都心として、またその環境や自然、歴史を配慮したまちづくりが課題となってきております。私はこのまちの課題を「災害に強いまち」「水害のないまち」「子育て・教育の充実したまち」「安心・長生きのまち」「地下鉄7号線が通るまち」と大きく5つに捉え、市政への架け橋となるべく参りました。その質問の一部をダイジェスト版としてお届け致します。今後も岩槻の将来を見据え、「今、できること」「今、やらなければならないこと」を精査し、実現できるよう努力して参ります。

- 129万人都市の防災について
- 高年齢者の充実した生活・介護の負担軽減を目指して
- 応急給水施設整備事業について
- 内水（浸水）対策について
- なぜ岩槻区全中学校に武道場が無いのか？
- 地下鉄7号線岩槻延伸へ第一歩
- 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランについて

発行 新井もりお事務所

市民相談窓口 [市民の声] 受付時間 月～金 10:00～12:00 14:00～16:00
さいたま市岩槻区大字徳力 86番地
TEL 048-812-7218 FAX 048-812-7219
Email ; morimori-morimori@rose.plala.or.jp

私たちのまち、さいたま市に関するご意見・ご要望がございましたら新井もりお事務所へお寄せください。共にさいたま市を安心して暮らせるまち・活力あふれるまちへと盛り上げていきましょう。

災害に強いまち

大きな災害に備えよう

平成30年6月定例会総合政策委員会議案外質問より

129万人都市の防災について

- Q. 人口129万人を越える都市となったさいたま市の災害時の対応、またこれに備えた市の取り組みを伺う。
- A. さいたま市では本年3月に国土強靱化地域計画の策定及び地域防災計画の改定を行い、自助・共助・公助それぞれの取り組みとその連携により、災害に対する事前の備えに努めることとしている。
- 公助…避難者のための食糧備蓄や支援物資を受け入れる広域拠点備蓄倉庫の整備、災害協定の締結、防災行政無線やヤフー防災アプリ、防災行政無線メールなどの災害情報連絡体制整備。
- 共助…発災直後の救助、救援活動は地域住民の自主活動が最も効果を発揮することから、自主防災組織に対して資機材等の購入の補助や防災アドバイザー制度による災害図上訓練の支援などを行い強化を図る。
- 自助…自分たちでできる災害に対する備えを着実に行うことが必要であることから、出前講座の実施や防災ガイドブックを市内全戸に配布するなど、市民への啓発に努めている。
- 先般の大阪府北部を震源とする地震により、小学校のブロック塀が倒れて女児が死亡した悲惨な事故を機に、全国でブロック塀の安全点検が行われています。

応急給水施設整備事業について

平成28年6月定例会一般質問より

- Q. 人口が急激に増加している岩槻区の南部地区。都市再生機構、土地区画整理事業で開発されている美園地区に応急給水施設がない。ここに整備できないか。
- A. 旧岩槻市の応急給水施設としては、相野原配水場など3配水場ほか、既に岩槻本丸公民館及び岩槻諏訪公園に災害用貯水タンクが2基設置してある。合併後、平成23年度までに避難場所に指定している学校、公園、公民館など震災時の応急給水活動に有効性が高いところとして、西原小学校、柏陽中学校、岩槻中学校、城北中学校、川通中学校、の5か所に災害用貯水タンクを設置した。なお、避難場所遠方地区等の方への応急給水については、給水コンテナや給水車により飲料水を届ける体制を整えているところである。